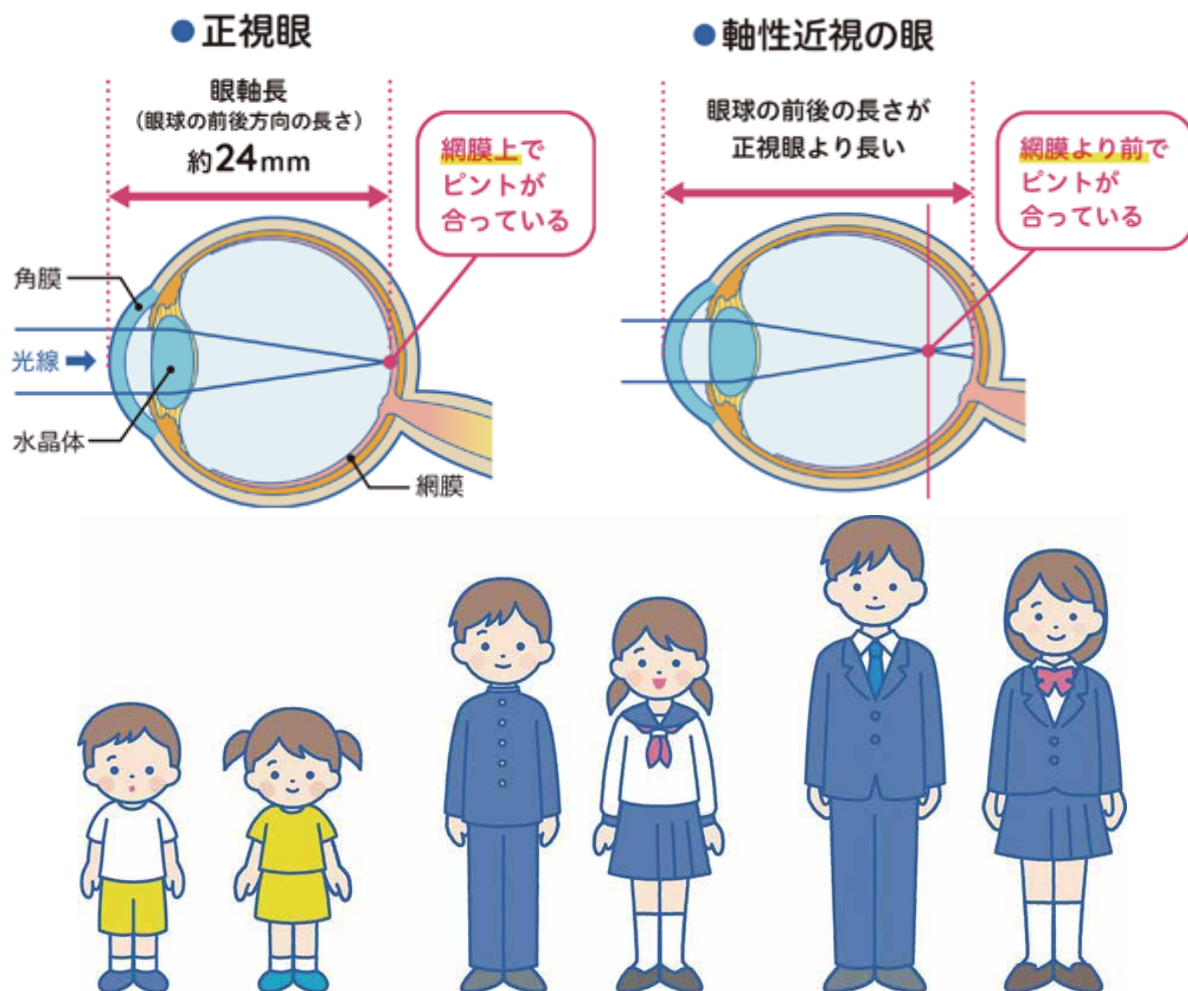


近視とは

近視とは、目の中に入った光のピントが合う位置が網膜より前になっている状態のことを言います。

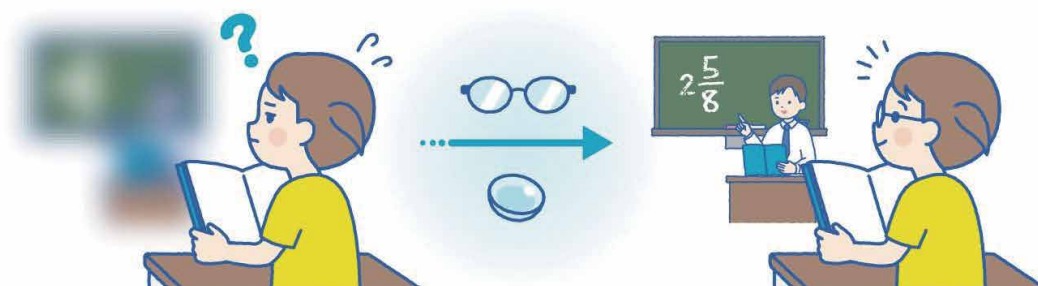
近視のほとんどは眼球が前後に伸びることで起こります。眼球は体が成長する時期に伸びることが多く、低年齢のころに速く伸びる可能性があります。



小児の近視進行抑制治療について

小児の近視の発症年齢が低年齢化し、近視になる子供の人数の増加及び重症化が世界的に問題となっています。

近視の発症により遠方の視力が不良になるため、多くの場合、眼鏡やコンタクトレンズの使用が必要になります。



さらに近視が進行することにより、将来緑内障や網膜剥離、黄斑変性症などの病気を発症する可能性が高まります。そのため小児期から近視がなるべく進まないように進行を抑制する治療が考えられてきました。2025 年春より国内で初めて近視抑制治療薬として承認された低濃度アトロピン点眼薬（リジュセアミニ 0.025%）が発売になりました。以下にリジュセアミニ 0.025% 点眼薬についての説明及び現在有効性や安全性が確認されている他の治療法について説明します。

- 注 意 -

以下の近視進行抑制治療は保険診療の対象にはなりません。自由診療になります。健康保険の使用、市町村で行っている子ども医療費助成制度の対象外となっています。検査料、診断料、薬剤等の料金を全額自己負担していただきます。また、下記治療中に眼鏡処方、コンタクトレンズ処方に関しても自由診療となりますので全額負担していただきます。

● リジュセアミニ 0.025%（0.025% アトロピン）点眼

リジュセアミニ 0.025%（0.025%アトロピン点眼液）は、発売前の臨床試験において、点眼を行わない場合に比べて、小児の屈折値の進行や、眼軸長の伸びを抑制することが確認され、近視の進行抑制を効能・効果として国内で初めて承認されました。

近視の進行を抑えることを目的としていますが、完全に近視の進行を止めることはできません。また、この治療は視力を回復させるものではありませんので、その点をご理解ください。したがって、本治療を行った場合でも、近視の程度に応じて眼鏡等での視力矯正が別途必要となる場合があります。

主な副作用として、羞明（まぶしく感じる）、霧視（かすんで見える）などがあります。また、治療を途中で中止すると、近視が急激に進行する可能性があります（リバウンド）。近視抑制効果やリバウンドの程度には個人差があります。

リジュセアミニ 0.025%を用いた小児の近視進行抑制治療は自由診療ですので、各医療施設により治療費は異なります。

治療費の目安：薬剤費（一月約 4400 円）1 年間に薬剤費約 53,000 円、検査費（3 か月ごとに受診した場合）合計約 20,000 円から（医療施設にご確認ください）、全額は約 73,000 円から（医療施設にご確認ください）、毎月受診して視力検査をした場合は約 77,000 円から（医療施設にご確認ください）。以上に加えて、副作用が出た場合の治療費、メガネやコンタクトレンズを作成する場合の処方料が加算されることが予想されます。



● マイオピン（0.01%アトロピン）点眼薬

低濃度アトロピン点眼薬（0.01%）、国内未承認。一部の眼科にて並行輸入されている。

効果：近視進行30～70%抑制。リジュセアミニ0.025%と同じように自由診療ですので、各医療施設により治療費（検査・診察・薬剤費）は異なります。

● 近視管理用眼鏡

既に各種販売されている。効果：近視進行を55～60%抑制。治療費概算：初期費用約5～10万円、年間メンテナンス費用約1～2万円。

● 多焦点ソフトコンタクトレンズ

MiSight®1day 国内治験が2024年12月に終了し、承認申請中。効果：近視進行を59%抑制。治療費概算：月額約8,000円（年間約10万円）。

● オルソケラトロジー

既に各種HCLで治療可能。効果：近視進行を32～63%抑制。治療費概算：初年度約15～20万円、2年目以降年間約5万円。

● レッドライト治療法

長期的安全性の検証が未だ。効果：近視進行を約90%抑制。治療費概算：月額約5,000～7,000円。

近視抑制治療の今後

今後も小児の近視進行抑制治療は、継続的にアップデートされていく予定です。

下記ホームページより最新の情報を確認してください。

日本近視学会のホームページ

<https://www.myopiasociety.jp/general/care/flow.html>

日本眼科医会のホームページの子どもの目・啓発コンテンツ

<https://www.gankaikai.or.jp>

子供たちの目の健康を守るために、かかりつけの医療機関にまずはご相談ください。